

だれでもできる SiteBox

配筋検査

目次

- SiteBox 配筋検査を操作する前に
 - 01 クラウドサービス管理画面で「SiteBox 配筋検査」を使用できるように設定する 1
 - 02 「出来形管理システム [配筋検査]」で追加したデータを「SiteBox 配筋検査」に転送する 8
- SiteBox 配筋検査の操作
 - 03 「SiteBox 配筋検査」にログインし、クラウド上のデータと同期する 18
 - 04 「SiteBox 配筋検査」で自主検査の検査結果を入力する 20
 - 05 「SiteBox 配筋検査」で立会検査の検査結果を入力する 24
- SiteBox の操作
 - 06 「SiteBox」で配筋写真を撮影する 28
- データ転送・同期
 - 07 「SiteBox 配筋検査」で作成した工事写真を「写管屋」の分類フォルダーに取り込む 35
 - 08 「SiteBox 配筋検査」で入力した実測値を「出来形管理システム」と同期する 39
 - 09 「SiteBox 配筋検査」から取り込んだデータを印刷する 41
- 注意事項
 - 「SiteBox 配筋検査」の削除（アンインストール） / データのアップロードについて 44

STEP

01

クラウドサービス管理画面で「SiteBox 配筋検査」を使用できるように設定する

SiteBox 配筋検査を使用するには、クラウドサービス管理画面での設定が必要です。

設定の流れ

01

管理者情報の登録

P2

[管理者が行う操作です]

管理者情報を登録し、クラウドサービスを利用できる状態にします。

02

メンバー招待

SiteBox 配筋検査利用権限

P4

[管理者が行う操作です]

クラウドサービスを利用するメンバーをメールで招待します。
招待メール送信時に、SiteBox 配筋検査の利用権限を設定します。

03

個人情報の登録

P5

[メンバーが行う操作です]

招待メールからクラウドサービス管理画面を起動し、個人情報を登録します。

04

KSデータバンク
インストール

P6

[SiteBox 配筋検査を使用する方が行う操作です]

KSデータバンクをインストールします。
KSデータバンクは、SiteBoxで撮影した写真や記録した実測値を
保管するクラウドサービスです。

05

SiteBox 配筋検査
インストール

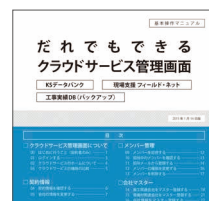
P7

[SiteBox 配筋検査をまだインストールしていない方が行う操作です]

クラウドサービス管理画面にも、Google PlayストアとApp Storeの
二次元コードがございます。

詳しい操作方法についてのご案内

このマニュアルでは、基本的な操作の流れを説明しています。
クラウドサービス管理画面の詳しい操作については、
「クラウドサービス管理画面 基本操作マニュアル」または「ヘルプ」を
ご覧ください。



01 | 管理者情報を登録します。

1 以下のアドレスにアクセスし、クラウドサービス ID・メールアドレスを登録します。

ログイン用アドレス <https://my.ks-cloud.net/first>

クラウドサービス管理画面

管理者情報の登録

この度は、ご成約ありがとうございます。
クラウドサービスIDと管理者のメールアドレスを入力して「登録する」ボタンを押してください。

クラウドサービスID 1 入力

メールアドレス

2 登録する キャンセル

クラウドサービス ID は、ご注文時に送信させていただいたメールをご確認ください。

差出人：建設システムクラウドサービス
(ks-cloud@kentem.co.jp)

件名：「クラウドサービス」登録完了のお知らせ



2 管理者情報の登録が完了しました。
※登録されたメールアドレスにメールが送信されます。

クラウドサービス管理画面

管理者情報の登録完了

以下のアドレスにメールを送信しました。

3 完了

3 メール URL からクラウドサービス管理画面を立ち上げます。

ご利用いただきありがとうございます。

以下のURLをクリックして、メンバー登録の続きを行ってください。

<https://my.ks-cloud.net/>

このメールは送信専用のため、返信はお受けできません。

4

4 引き続き、名前・パスワードを登録します。

メンバー情報の登録

下記の内容を入力して「登録する」ボタンを押してください。

メンバー情報

氏名 **必須** 姓 建設 名 一部

パスワード **必須** ●●●●●●●● 入力

パスワード (確認用) **必須** ●●●●●●●●

アプリケーション選択 SiteBox 利用規約

5 利用規約に同意し、登録を完了します。※ログイン方法については、P18をご覧ください。

アプリケーション選択 SiteBox 利用規約

SiteBox 利用規約

この規約（以下、「SB規約」といいます。）は株式会社建設システム（以下、「当社」といいます。）と、当社の提供する SiteBoxに係るサービス、又はアプリケーション（以下、「SBサービス」といいます。）を利用するお客様との間の権利義務を定めさせていただきます。

利用規約に同意する

登録する

クラウドサービス管理画面 ヘルプ

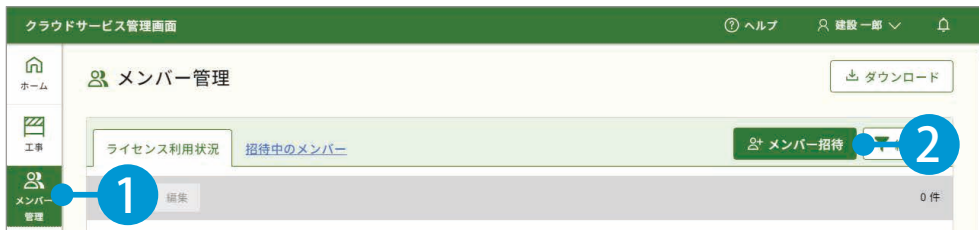
メンバー登録の完了

メンバー登録が完了しました

完了

02 | クラウドサービスを利用するメンバーをメールで招待します。

1 [メンバー管理] → [メンバー招待] をクリックします。



2 招待するメンバーのメールアドレスを入力します。



※個人のメールアドレスをお持ちでない場合は、フリーのメールアドレスをご登録していただく必要がございます。

3 メンバーの権限等を設定し、SiteBox と SiteBox 配筋検査欄にチェックを付けます。



SiteBox 配筋検査で配筋写真を撮る場合は SiteBox にもチェックを付けます。詳しくは P28 をご確認ください。



※登録した各メールアドレスに、招待メールが配信されます。配信されたメールには、有効期限があります。

あとでメンバーの権限を変更する場合

[メンバー管理] より、メンバーの権限を変更することができます。

03 | 招待メールから、個人情報を登録します。

- 1 招待者にはメールが届きます。メールの URL をクリックし、クラウドサービス管理画面を起動します。

ご利用いただきありがとうございます。

以下の URL をクリックして、メンバー登録の続きを行ってください。

<https://my.ks-cloud.net/>

1

このメールは送信専用のため、返信はお受けできません。

- 2 名前とパスワードを入力します。

② メンバー情報の登録

下記の内容を入力して「登録する」ボタンを押してください。

メンバー情報

氏名 **必須** 姓 建設 名 二郎

パスワード **必須** ●●●●●●●● 半角大文字・小文字・数字・記号を含めた10文字以上

パスワード (確認用) **必須** ●●●●●●●●

アプリケーション選択 SiteBox 配筋検査 利用規約

- 3 利用規約に同意し、登録を完了します。

アプリケーション選択 SiteBox 配筋検査 利用規約

SiteBox 配筋検査 利用規約

この規約 (以下、「SBH規約」といいます。)は株式会社建設システム (以下、「当社」といいます。)と、当社の提供する SiteBox 配筋検査に係るサービス、又はアプリケーション (以下、「SBHサービス」といいます。)を利用するお客様との間の権利義務を定めたものです。

利用規約に同意する

登録する



04 | KS データバンクをインストールします。

1 [App一覧] → [インストーラ] をクリックします。



※インストールの手順に関しては、[マニュアル] をクリックし、ダウンロードしてください。

KS データバンクの操作について

ヘルプ機能をお使いください。
KS データバンクの画面上的 [ヘルプ] タブ → [ヘルプ] でヘルプが起動します。



05 | SiteBox 配筋検査と、SiteBox をインストールします。

- 1 まだインストールしていない場合は、Google Play ストアまたは App Store にて「SiteBox」「SiteBox 配筋検査」を検索するか、または下記二次元コードを読み取ってインストールしてください。

SiteBox 配筋検査のインストール

下記二次元コードを読み取り、インストールしてください。



SiteBox のインストール

下記二次元コードを読み取り、インストールしてください。



クラウドサービス管理画面から Google Play ストア または App Store を表示したい場合

端末にて、クラウドサービス管理画面の [契約情報] から Google Play ストアまたは App Store を直接表示することも可能です。

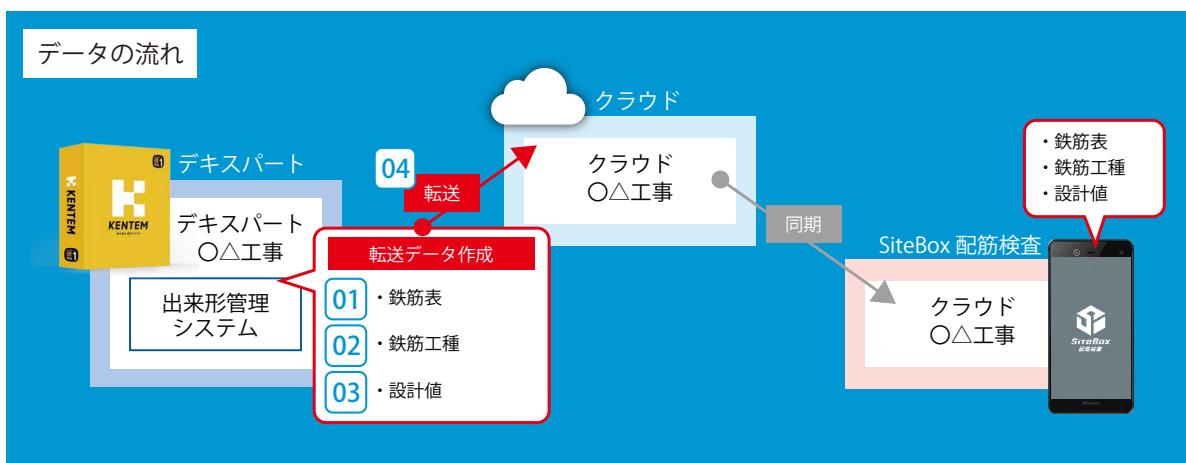
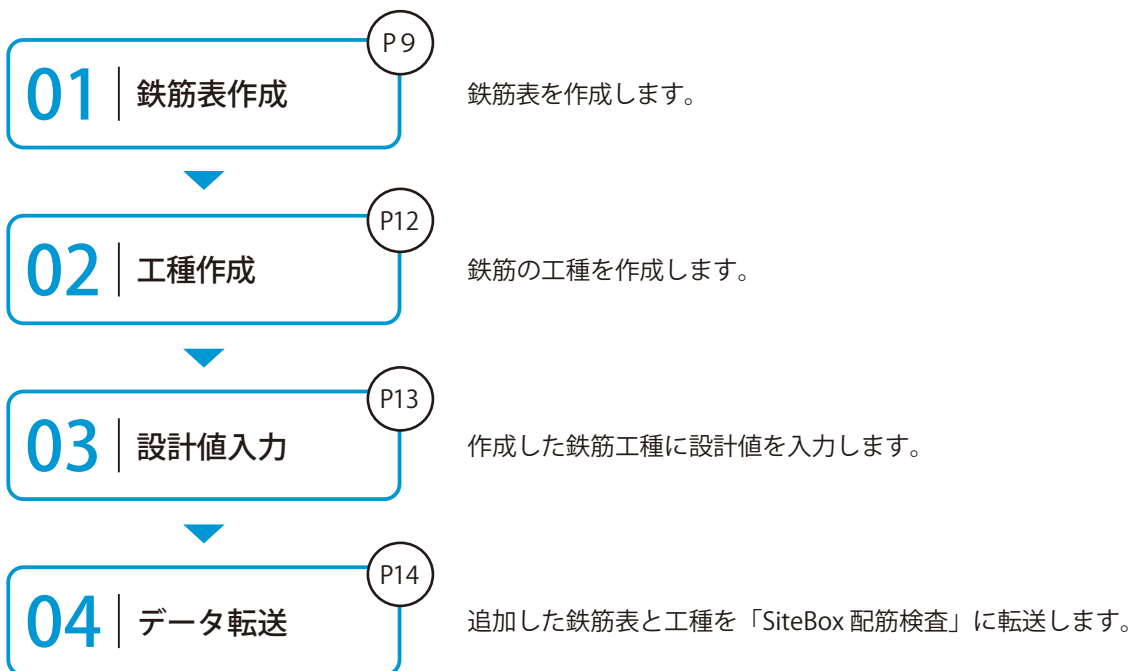
アプリ名	契約期間	契約内容	
KSデータバンク	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	30GB	...
SiteBox	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	10ライセンス	...
SiteBox トンネル	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	10ライセンス	...
SiteBox 配筋検査	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	10ライセンス	...
写管屋クラウド	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	10ライセンス	利用規約
出来形管理クラウド	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	5ライセンス	マニュアル
品質管理クラウド [コンクリート]	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	5ライセンス	Google Playから入手
施工体制クラウド	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	5ライセンス	App Storeから入手

STEP 02

「出来形管理システム [配筋検査]」で追加したデータを「SiteBox 配筋検査」に転送する

出来形管理システム [配筋検査] で追加した工種と鉄筋表を、クラウドを経由して「SiteBox 配筋検査」に転送します。

「出来形管理システム [配筋検査]」での操作の流れ

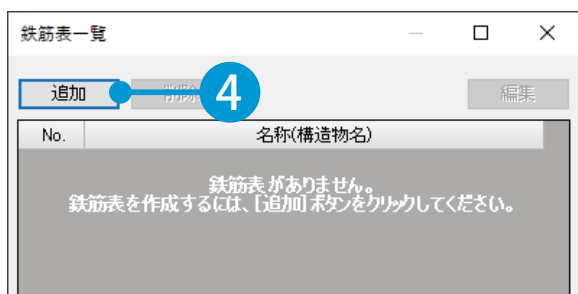


01 | 鉄筋表を作成します。

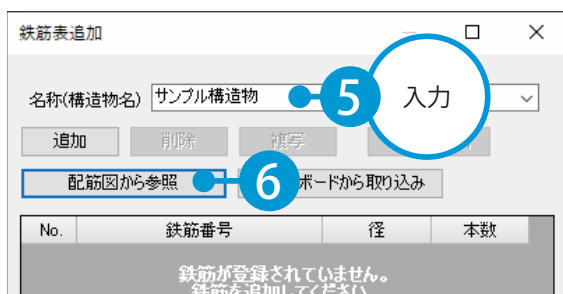
1 [工程一覧] タブをクリックし、[鉄筋] → [鉄筋表] をクリックします。



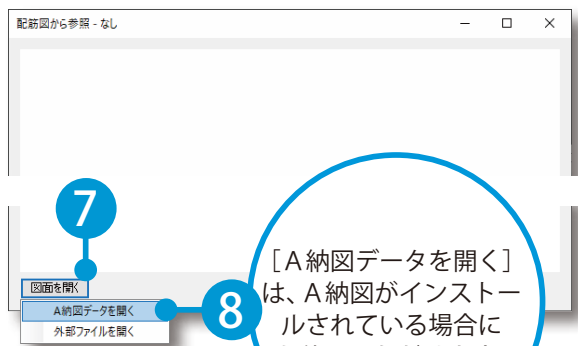
2 [追加] をクリックします。



3 名称（構造物名）を入力し、[配筋図から参照] をクリックします。



4 [図面を開く] → [A 納図データを開く] をクリックします。

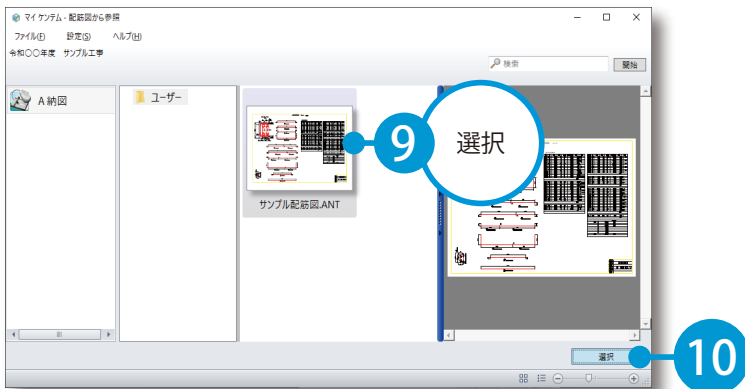


外部ファイルから取り込む場合

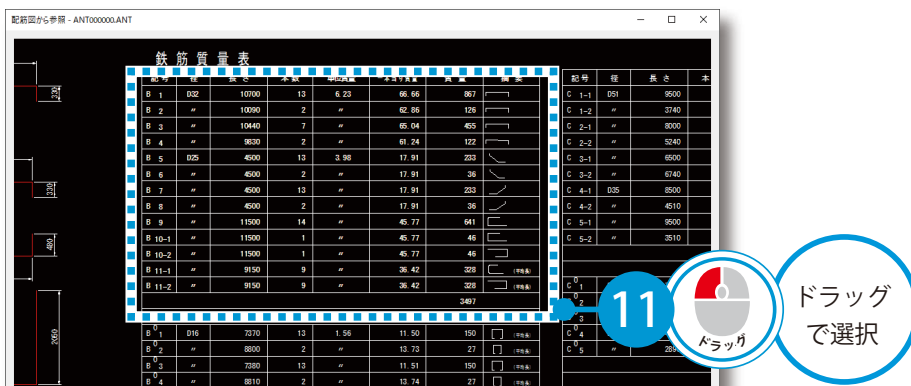
[図面を開く] → [外部ファイルを開く] を選択します。
取り込めるファイル形式は、以下の通りです。
ANT、dwg、dxf、hoc、jwc、jww、jws、jwk、pdf、p21、sfc、p2z、sfz

※ pdf 形式のファイルは、「ケンテム PDF [図面変換]」がインストールされている場合にお使いいただけます。

5 図面を選択します。



6 図面に記載されている表をドラッグで選択します。



7 設定項目を選択し、割り当てます。



鉄筋番号が複数の列に分かれてしまった場合

表取込

鉄筋番号・径・本数に該当する列を設定し、取り込む行を選択

設定項目 鉄筋番号 鉄筋番号

	鉄筋番号	記号	径	長さ
1				
2	B	1	D32	10700
3	B	2	〃	10090
4	B	3	〃	10440

設定項目で「鉄筋番号」を両方とも割り当てることで、一つにまとめて取り込むことができます。

8 [完了] をクリックします。

9 [閉じる] をクリックします。

鉄筋表追加

名称(構造物名) サンプル構造物

追加 削除 複写 径表示形式

配筋図から参照 クリップボードから取り込み

No.	鉄筋番号	径	本数
5	B4	D32	2
13	B11-1	D25	9
14	B11-2	D25	9

完了 **15**

鉄筋表一覧

追加 削除 編集

No.	名称(構造物名)
1	サンプル構造物

閉じる **16**

Excel の鉄筋表から取り込む場合

1 Excel の表を選択し、コピーします。

3 設定項目をプルダウンから選択します。

2 鉄筋表追加画面の [クリップボードから取り込み] をクリックします。

鉄筋表追加

名称(構造物名) サンプル構造物

追加 削除 複写 径表示形式

配筋図から参照 クリップボードから取り込み **1**

No.	鉄筋番号	径	本数
-----	------	---	----

表取込

鉄筋番号・径・本数に該当する列を設定し、取り込む行を選択してください。

設定項目 鉄筋番号 径 本数 **3 選択**

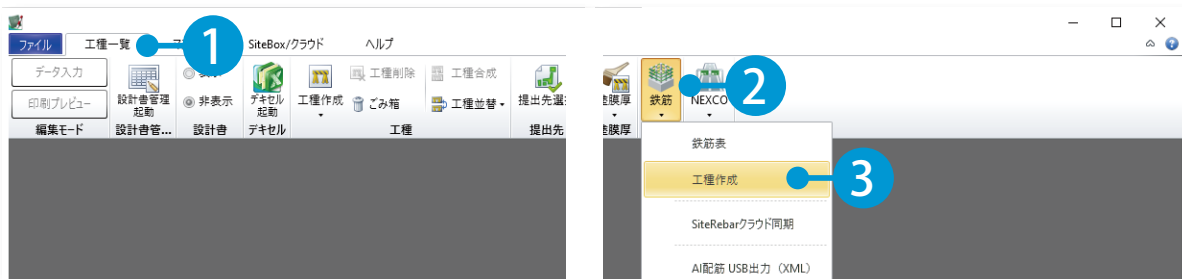
No.	鉄筋番号	径	長さ	鉄筋番号	単位重量	一本当り
1	選別					
2	B1	D32	10700	19	6.23	66.66
3	B2	D32	10090	2	6.23	62.86
10	B9			14	3.98	45.77
11				1	3.98	45.77
12	B11			1	3.98	45.77
13	B12			9	3.98	36.42
14	B13			9	3.98	36.42

2 選択

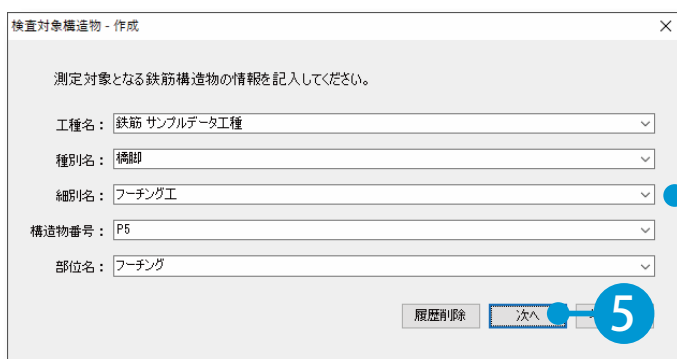
4 OK キャンセル

02 | 工種を作成します。

- 1 [工種一覧] タブをクリックし、[鉄筋] → [工種作成] をクリックします。

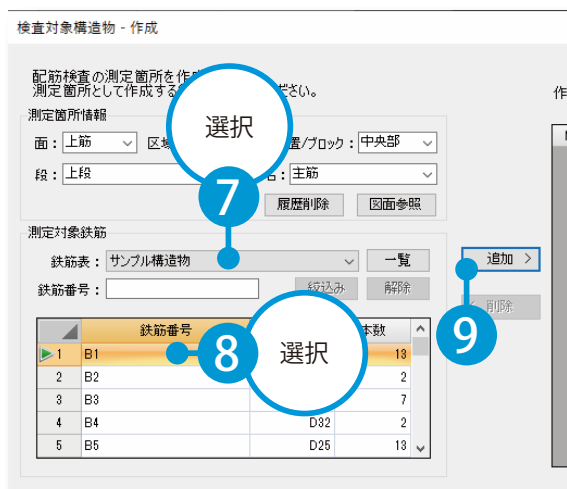


- 2 工種名・種別名・細別名・構造物番号・部位名を入力します。

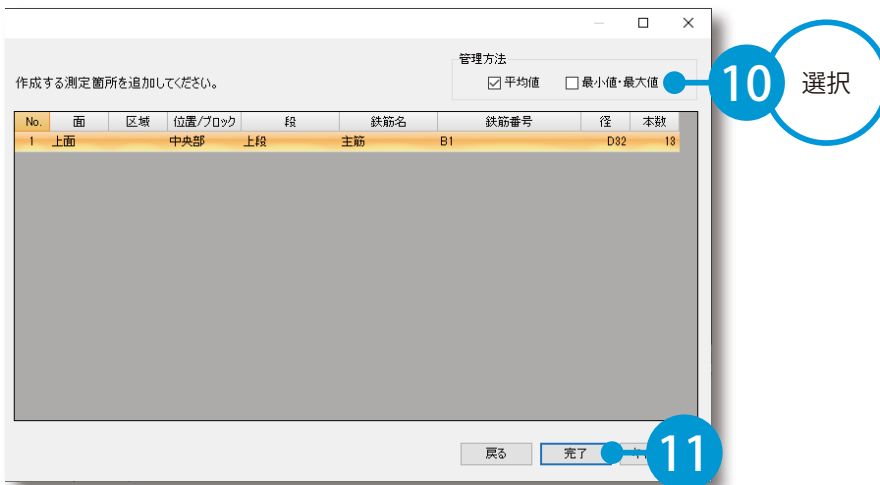


- 3 測定箇所情報の面・区域・位置 / ブロック・段・鉄筋名を入力します。

- 4 鉄筋表を選択し、鉄筋番号を選択します。

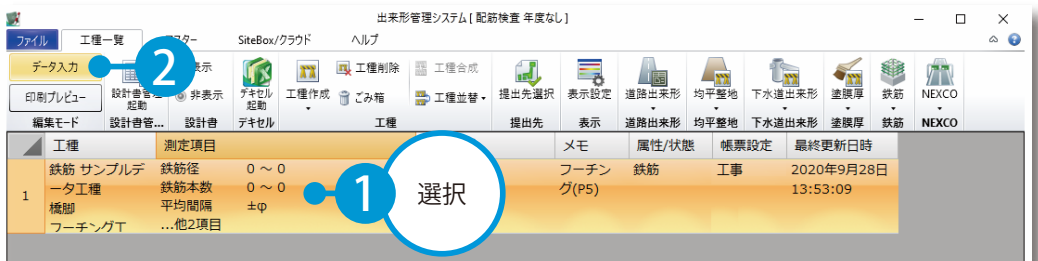


5 管理方法を選択します。



03 | 設計値を入力します。

1 作成した鉄筋工種を選択し、[データ入力] をクリックします。



2 設計値を入力し、[工種一覧] をクリックします。



04 | 鉄筋工種を「SiteBox 配筋検査」に転送します。

- 1 [SiteBox/クラウド] タブをクリックし、[工事選択] をクリックします。



- 2 [新規作成] をクリックします。



ログイン画面が表示された場合

「クラウドサービス管理画面」にて登録済みの「メールアドレス」「パスワード」を入力し、[ログイン] をクリックしてください。

- 3 クラウドサービス管理画面が起動します。
工事情報を入力します。

4 必要に応じて、メンバーを割当てます。



メンバーを絞込むことができます



追加する

5 [次へ] をクリックします。



6 休日の曜日・祝日を設定します。

7 休日の詳細を設定したら、[登録する] をクリックします。

8 クラウドサービス管理画面上に、工事データが新規登録されました。

9 出来形管理システムに戻り、[更新] をクリックします。

クラウドサービスの工事の選択

クラウドサービスの工事を選択してください。
現在関連している工事：未選択

工事名	管理用コメント	工期開始日	工期終了日	現場代理人
工事が存在しません。				

更新 OK キャンセル

10 作成したクラウド上の工事データを選択し、[OK] をクリックします。

クラウドサービスの工事の選択

クラウドサービスの工事を選択してください。
現在関連している工事：未選択

工事名	管	工期開始日	工期終了日	現場代理人
令和〇〇年度 サンプル工事		2020/08/01	2020/12/31	建設 一部

更新 新規作成 OK キャンセル

11 [同期] をクリックします。

出来形管理

ファイル 工種一覧 マスター SiteBox/クラウド ヘルプ

同期 工事選択

SiteBox/クラウド

工種	測定項目
鉄筋 サンプルデータ	鉄筋径 0 ~ 0
一タ工種	鉄筋本数 0 ~ 0
橋脚	平均間隔 ±φ
フォーミングT	...他2項目

同期についての注意点

1つの工種内に同名の測定箇所、および同名・同記号の項目が複数存在する場合、それぞれ先頭のデータのみ同期の対象となります。

STEP 03

「SiteBox 配筋検査」にログインし、クラウド上のデータと同期する

SiteBox 配筋検査にログインするには、クラウドサービス管理画面で設定したメールアドレスとパスワードが必要です。

SiteBox 配筋検査のインストール

まだインストールしていない場合は、下記の二次元コードを読み取り、インストールしてください。



SiteBox のインストール

まだインストールしていない場合は、下記の二次元コードを読み取り、インストールしてください。



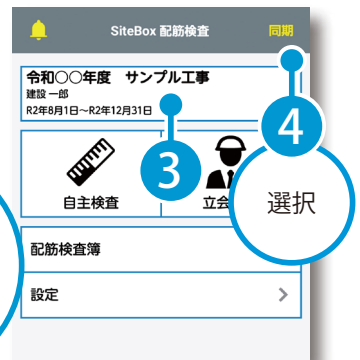
01 | SiteBox 配筋検査にログインします。

- 1 「SiteBox 配筋検査」を起動し、メールアドレスとパスワードを入力します。
画面が推移しない場合は、[ログイン] をタップしてください。

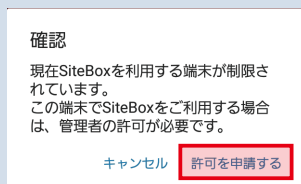


【P4】で設定したメールアドレスとパスワードを入力

- 2 クラウド上の任意の工事データを選択し、[同期] をタップします。



確認メッセージが表示された場合



「クラウドサービス管理画面」で、利用できる端末を制限している場合に表示されます。
[許可を申請する] をタップして、管理者にご連絡ください。

プロキシを利用するにはユーザー名とパスワードを指定する必要があります。

ユーザー名

パスワード

OK キャンセル


認証が必要となるプロキシサーバーが使用されている環境で表示されます。
認証用の「ユーザー名」「パスワード」を入力してください。

お知らせ機能について



注意事項や不具合などの重要なお知らせがある場合、アプリ起動時に上記画面が表示されます。



 をタップすると、弊社からのお知らせを確認できます。

STEP

04

「SiteBox 配筋検査」で 自主検査の検査結果を入力する

SiteBox 配筋検査で、自主検査の検査結果を入力します。

「SiteBox 配筋検査」での操作の流れ

01

クラウドと同期
工種を選択

P21

クラウドと同期し、工種を選択します。

02

実測値入力

P22

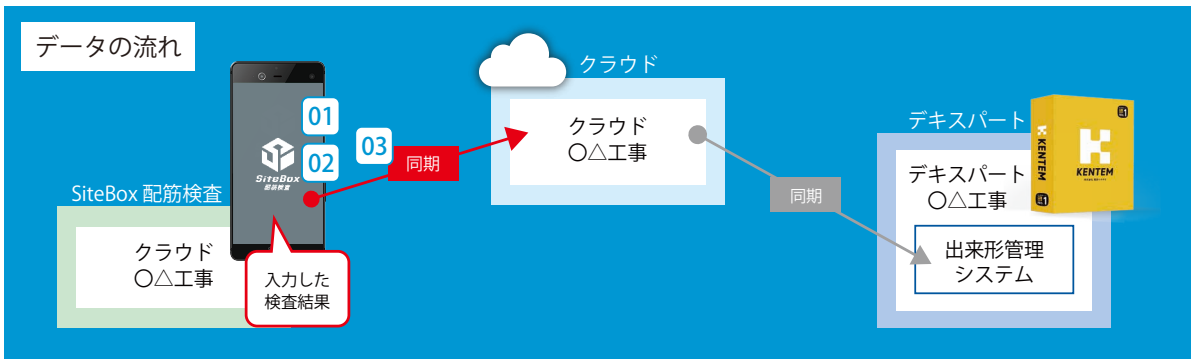
実測値を入力します。
入力後にそのまま配筋写真を撮影することもできます。
また、電子小黒板を作成して、配筋写真に写し込み、撮影できます。

03

クラウドと同期

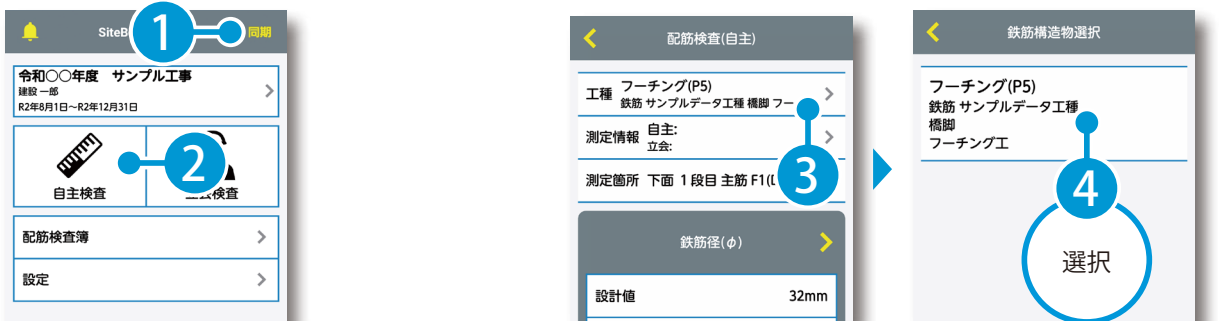
P23

入力した実測値などの情報を、クラウドと同期します。



01 | クラウドと同期し、各種情報を設定します。

- 1 [同期] をタップし、クラウドと同期します。同期後、[自主検査] をタップします。
- 2 [工種] をタップし、出来形管理システムから同期した工種を選択します。



- 2 [測定情報] を入力します。



- 3 [測定箇所] を選択します。



02 | 自主検査の実測値を入力します。

1 実測値欄をタップし、数値を入力します。



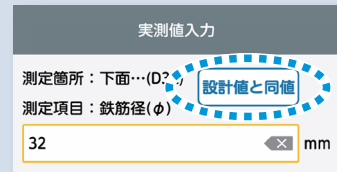
測定項目の切り替えについて

左右の矢印をタップすると、測定項目を切り替えることができます。



実測値の入力について

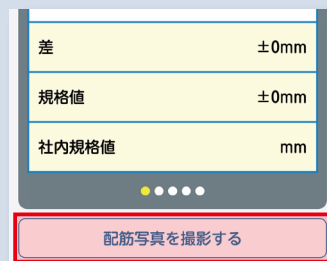
実測値が設計値と同じ場合、「設計値と同じ」をタップすることで設計値と同じ値が取り込まれます。



配筋写真を撮影する場合

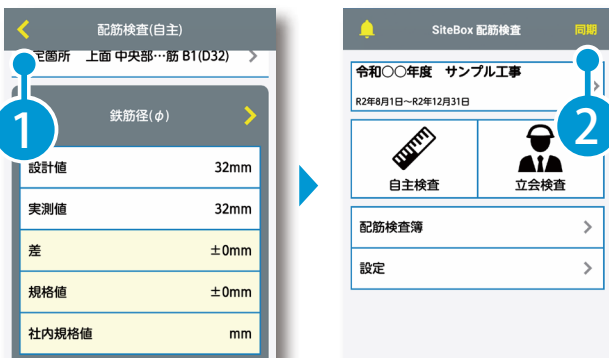
配筋写真を撮影する場合は、「配筋写真を撮影する」をタップします。

配筋写真の撮影の詳細は、【P28】をご確認ください。



03 | 入力した検査結果を保存（クラウドと同期）します。

- 1 ◀ をタップし、[同期] をタップします。



WiFi 接続時のアップロードについて

SiteBox 配筋検査の設定で [Wifi 接続時のみ自動同期] を「on」にすると、Wifi 環境下でのみ、工事データが自動でクラウド（KS データバンク）にアップロードされます。「off」の場合は、Wifi 環境下だけでなく、モバイルネットワーク環境（3G、4G 等）下でも自動でアップロードされます。
※初期設定では「on」に設定されています。

※【ご注意】データのアップロード中は、必ず SiteBox 配筋検査を起動しておくようにしてください。アップロード中にホーム画面の表示や SiteBox 配筋検査のタスクを切るなどの操作をすると、ネットワーク通信が切断され、クラウド（KS データバンク）へのアップロードに失敗することがあります。

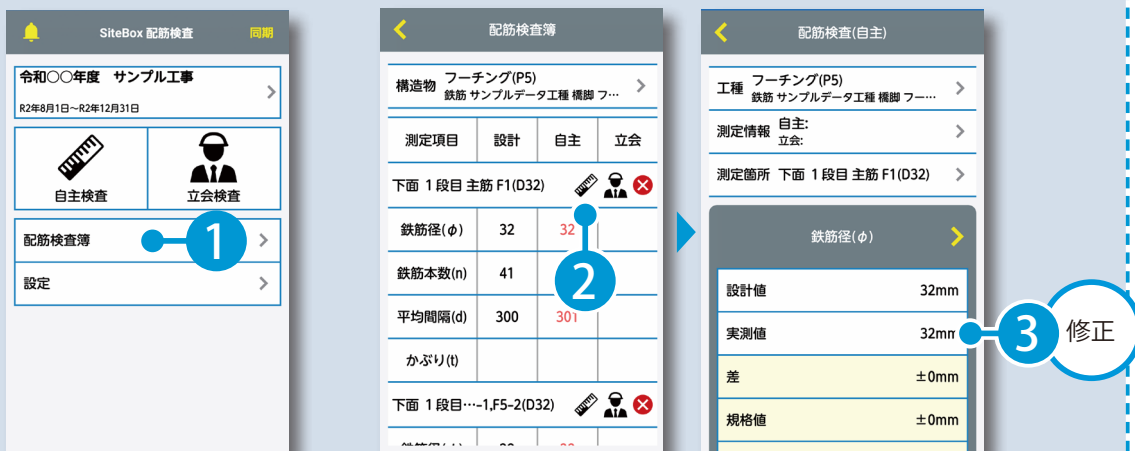
同期時の「データの競合」について

「データの競合」とは、同じデータに複数からアクセスした場合に、データの整合性が取れなくなることを言います。SiteBox 配筋検査を複数人で使用する場合などに発生することがありますので、ご注意ください。

（例）同じ測点の同じ測定項目での競合

保存した検査結果を修正するには

- 1 [配筋検査簿] をタップします。
- 2 測定箇所のアイコンをタップし、修正します。

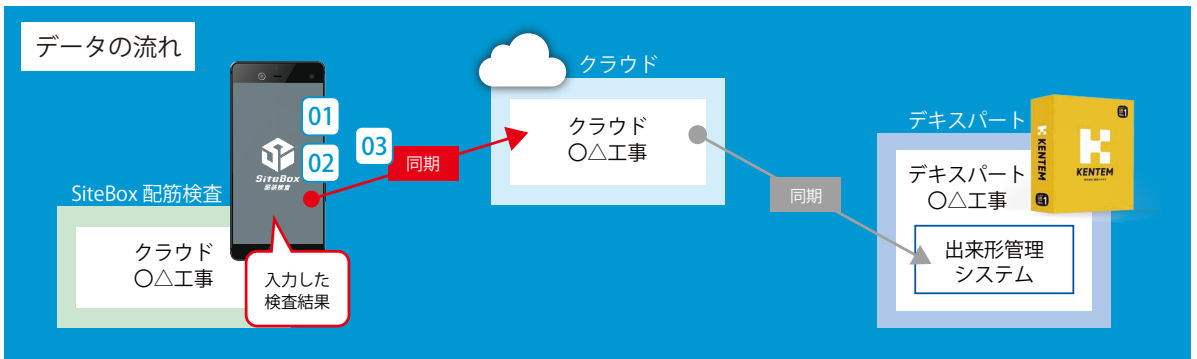
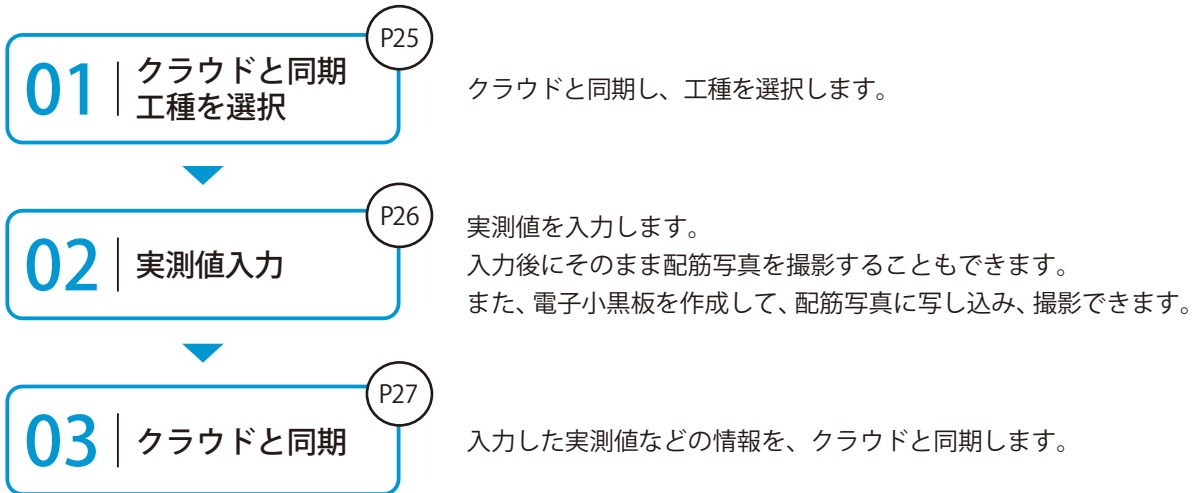


STEP 05

「SiteBox 配筋検査」で 立会検査の検査結果を入力する

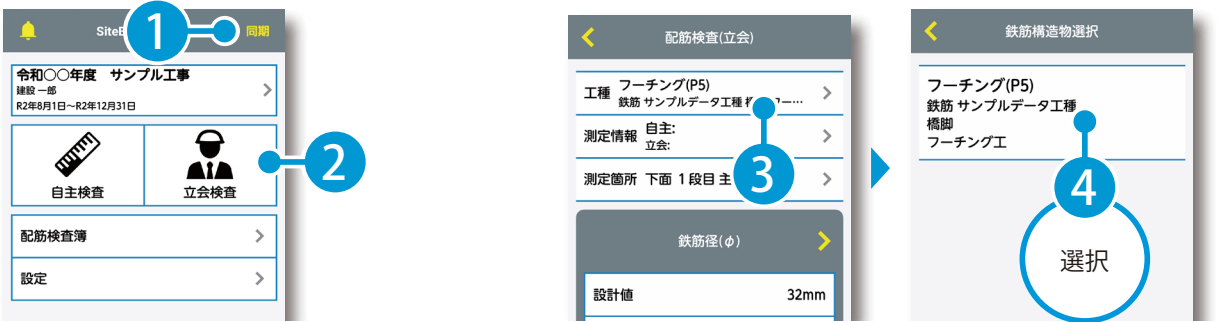
SiteBox 配筋検査で、立会検査の検査結果を入力します。

「SiteBox 配筋検査」での操作の流れ



01 | クラウドと同期し、各種情報を設定します。

- 1 [同期] をタップし、クラウドと同期します。同期後、[立会検査] をタップします。
- 2 [工種] をタップし、出来形管理システムから同期した工種を選択します。



- 2 [測定情報] を入力します。



- 3 [測定箇所] を選択します。



02 | 立会検査の実測値を入力します。

1 実測値欄をタップし、数値を入力します。



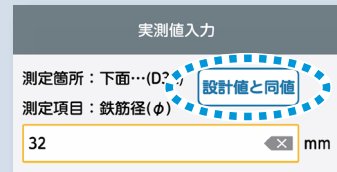
測定項目の切り替えについて

左右の矢印をタップすると、測定項目を切り替えることができます。



実測値の入力について

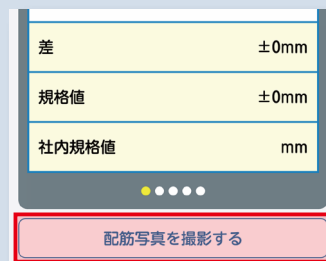
実測値が設計値と同じ場合、「設計値と同じ」をタップすることで設計値と同じ値が取り込まれます。



配筋写真を撮影する場合

配筋写真を撮影する場合は、「配筋写真を撮影する」をタップします。

配筋写真の撮影の詳細は、【P28】をご確認ください。



03 | 入力した検査結果をクラウドと同期します。

1 < をタップし、[同期] をタップします。



WiFi 接続時のアップロードについて

SiteBox 配筋検査の設定で [WiFi 接続時のみ自動同期] を「on」にすると、Wifi 環境下でのみ、工事データが自動でクラウド（KS データバンク）にアップロードされます。「off」の場合は、Wifi 環境下だけでなく、モバイルネットワーク環境（3G、4G 等）下でも自動でアップロードされます。
※初期設定では「on」に設定されています。

※【ご注意】データのアップロード中は、必ず SiteBox 配筋検査を起動しておくようにしてください。アップロード中にホーム画面の表示や SiteBox 配筋検査のタスクを切るなどの操作をすると、ネットワーク通信が切断され、クラウド（KS データバンク）へのアップロードに失敗することがあります。

同期時の「データの競合」について

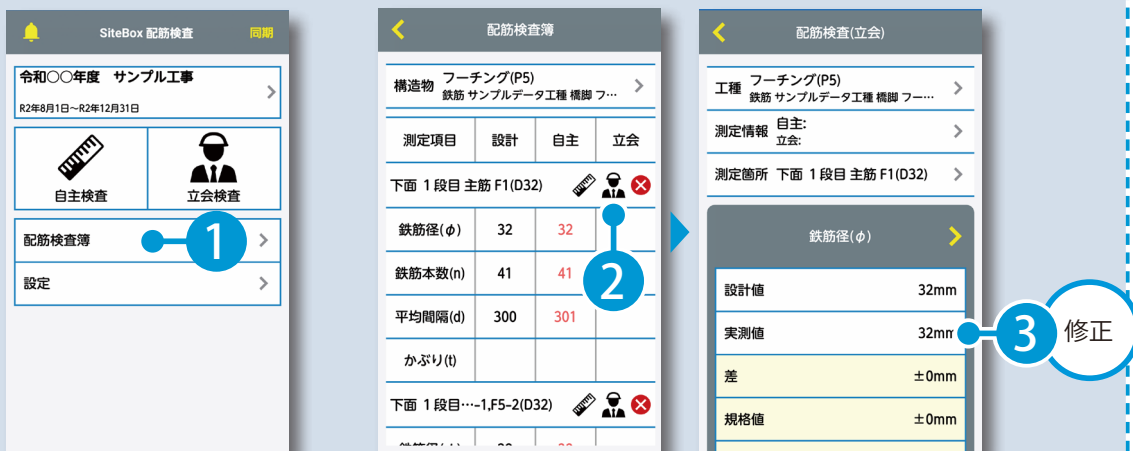
「データの競合」とは、同じデータに複数からアクセスした場合に、データの整合性が取れなくなることを言います。SiteBox 配筋検査を複数人で使用する場合などに発生することがありますので、ご注意ください。

(例) 同じ測点の同じ測定項目での競合

保存した検査結果を修正するには

1 [配筋検査簿] をタップします。

2 測定箇所のアイコンをタップし、修正します。

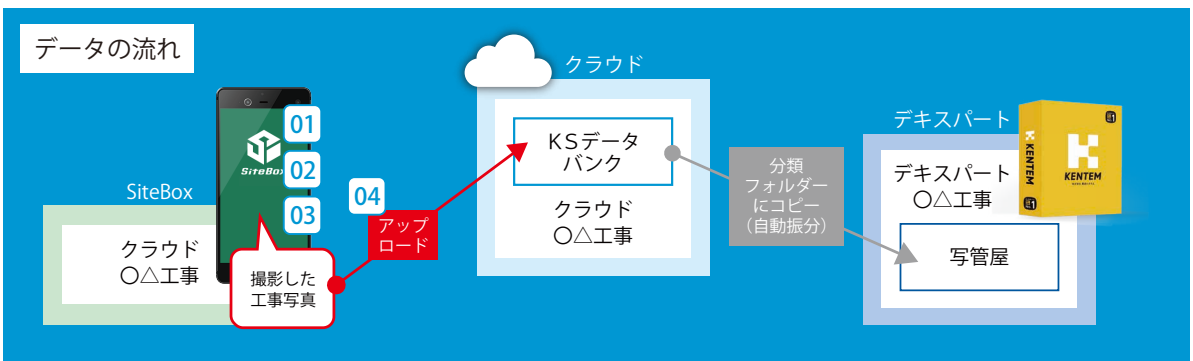
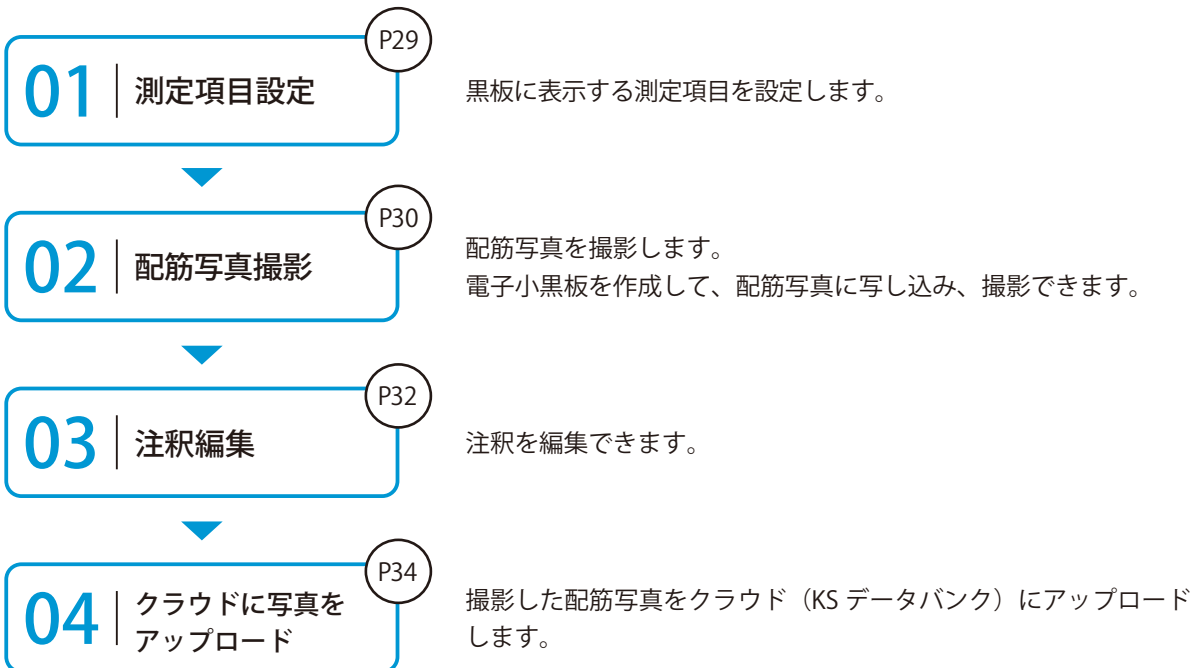


STEP 06

「SiteBox」で配筋写真を撮影する

SiteBox 配筋検査で測定項目を設定し、配筋写真を撮影します。撮影した写真は、クラウド（KS データバンク）を経由してデキスパートと連動します。

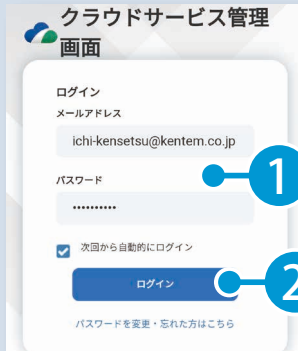
「SiteBox」での操作の流れ



配筋写真の撮影について

配筋写真を撮影するためには、「SiteBox」と工事データを合わせる必要があります。「SiteBox」を起動し、「SiteBox 配筋検査」と同じ工事を選択してください。

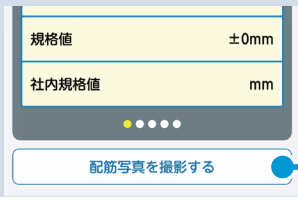
- 1 「SiteBox」を起動し、メールアドレスとパスワードを入力します。画面が推移しない場合は、[ログイン] をタップしてください。



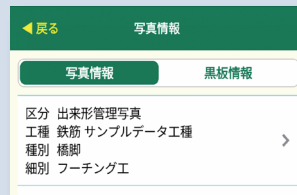
- 2 「SiteBox 配筋検査」と同じ工事を選択します。



- 3 「SiteBox 配筋検査」に戻り、[配筋写真を撮影する] をタップします。



- 4 「SiteBox」が起動します。



01 | 測定項目を設定します。

- 1 [配筋写真を撮影する] をタップし、[SiteBox] を起動します。



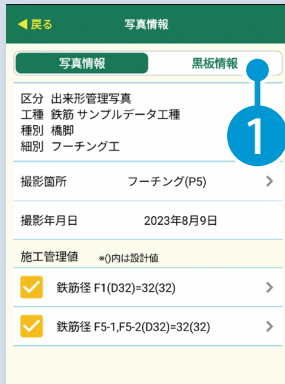
- 2 黒板に表示する測定項目に、チェックを付けます。



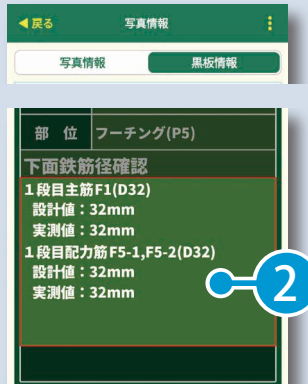
黒板情報を表示する場合

[写真撮影] から電子小黒板を写し込み、撮影する場合は、以下の手順で操作してください。

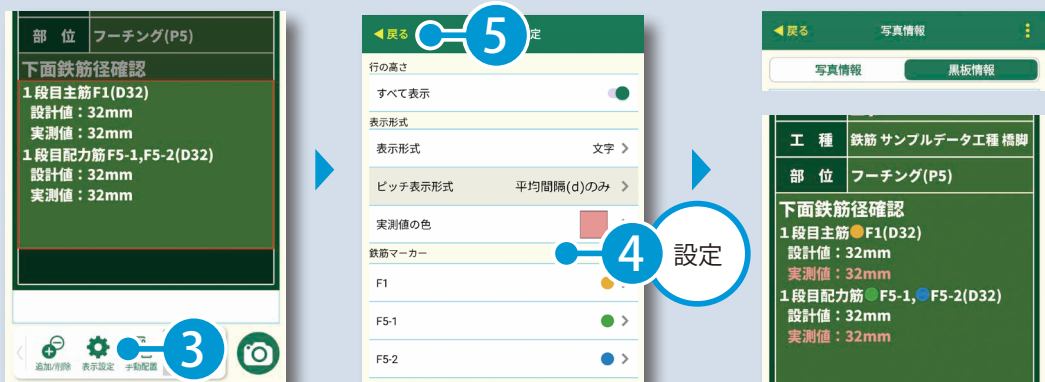
1 [黒板情報] をタップします。



2 黒板の記事欄をタップします。




3 画面下部のツールバー [表示設定] をタップし、表示形式や実測値の色、マーカーの設定を行います。

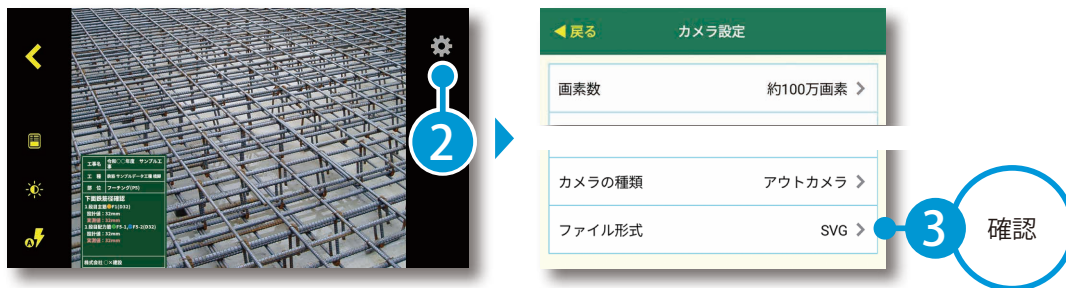


02 | 配筋写真を撮影します。

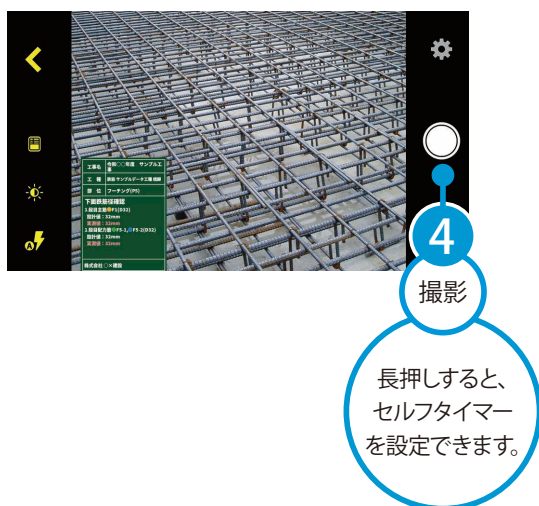
1 [カメラアイコン] をタップします。







2  をタップして、[ファイル形式] が「SVG」に設定されていることを確認します。



3 写真を撮影します。



写真撮影画面のアイコンについて

-  電子小黒板の表示 / 非表示の切り替えができます。
-  明るさを設定できます。
-  フラッシュの切り替えができます。
-  写真の画素数や黒板色、位置情報などを設定できます。

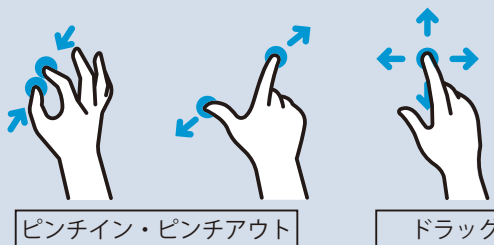
電子小黒板の固定サイズ表示・拡大 / 縮小

固定サイズ表示

黒板を長押しして表示されるメニューより、任意の固定サイズをタップします。

拡大 / 縮小

指2本でピンチイン・ピンチアウトすることで拡大縮小、ドラッグすることで位置を調整できます。



ピンチイン・ピンチアウト

ドラッグ

03 | 写真撮影後、注釈を編集します。

1 カメラ画面または、メイン画面から工事写真帳を開きます。

写真撮影後にそのまま注釈を編集する場合はカメラ画面、後からまとめて編集する場合はメイン画面左上をタップし、[工事写真帳] をタップします。

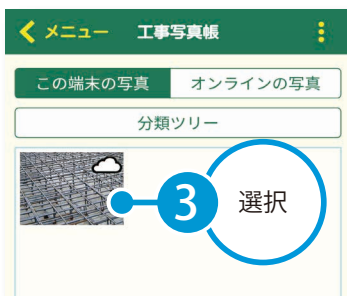
撮影後にそのまま編集する場合



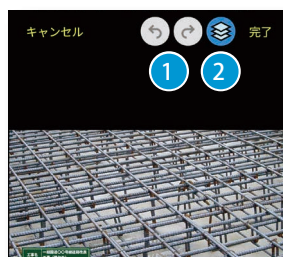
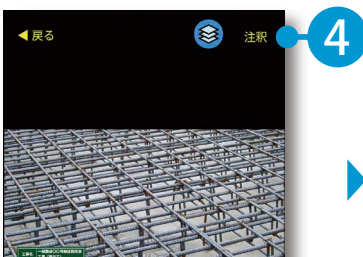
後からまとめて編集する場合



2 工事写真帳にて、編集したい写真をタップします。



3 [注釈] をタップして、注釈を編集します。



1 直前の操作を取り消す、または取り消した操作をもう一度実行します。

2 黒板と注釈のレイヤの表示 / 非表示を切り替えます。

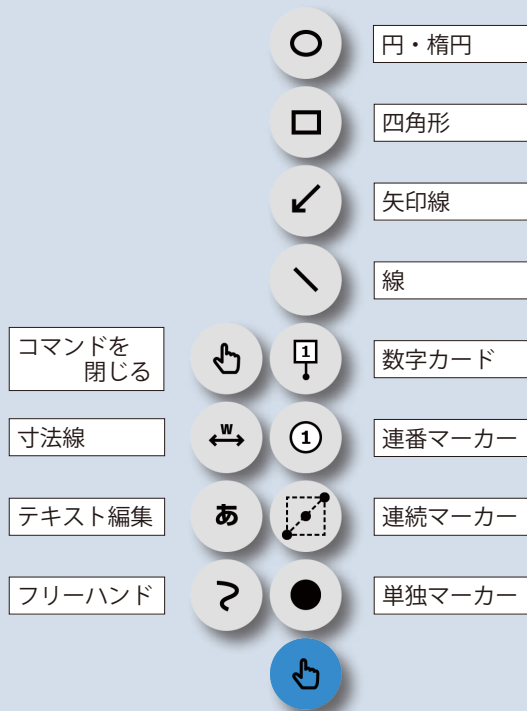
3 オブジェクトの線の色や太さを変更します。

4 コマンドの固定 / 固定の解除をします。

5 コマンドを選択します。

コマンドの機能について

コマンドボタンをタップすると、各種コマンドを使用できます。



オブジェクト選択時に表示されるコマンドについて

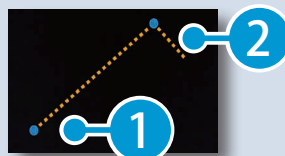
オブジェクト描画時や選択時に、画面上部にコマンドが表示されます。



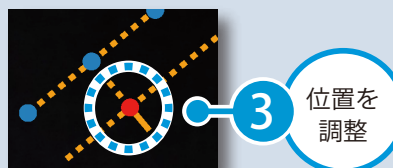
- 1 オブジェクトの削除
- 2 オブジェクトの拡大
- 3 オブジェクトの縮小
- 4 オブジェクトの回転

連続マーカについて

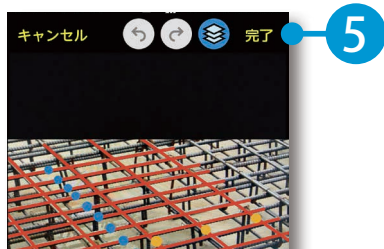
- 1 開始点と終了点を指定します。



- 2 2点目のバーを移動して、位置を調整します。



- 4 [完了] をタップします。

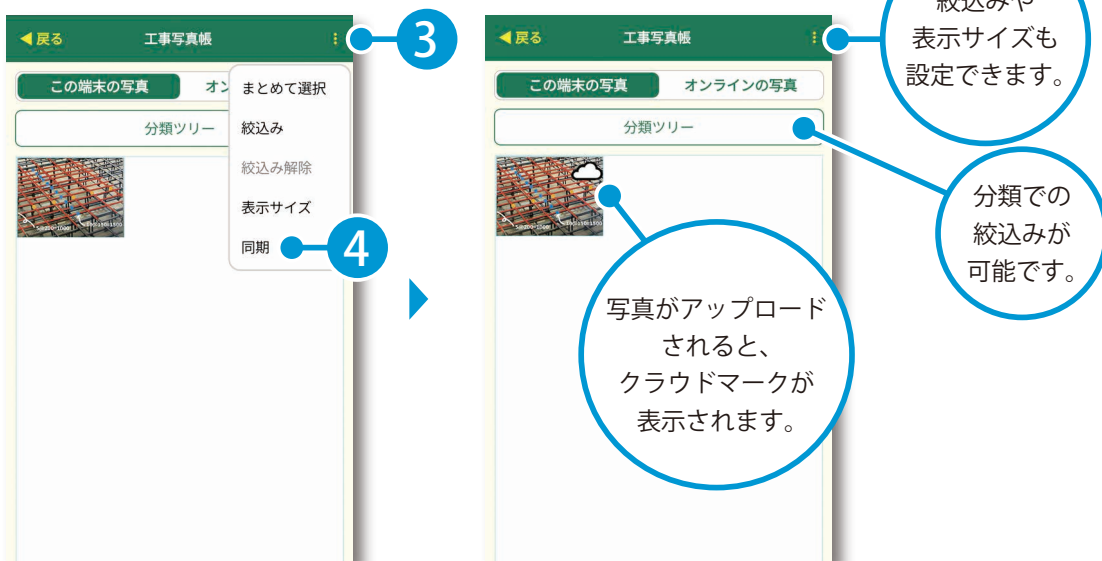


04 | 配筋写真をクラウド（KS データバンク）にアップロードします。

1 画面左上をタップし、[工事写真帳] をタップします。



2 [同期] をタップします。



Wifi 接続時のアップロードについて

SiteBox の設定で [Wifi 接続時のみ自動同期] を「on」にすると、Wifi 環境下でのみ、工事写真が自動でクラウド（KS データバンク）にアップロードされます。

「off」の場合は、Wifi 環境下だけでなく、モバイルネットワーク環境（3G、4G 等）下でも自動でアップロードされます。

※初期設定では「on」に設定されています。

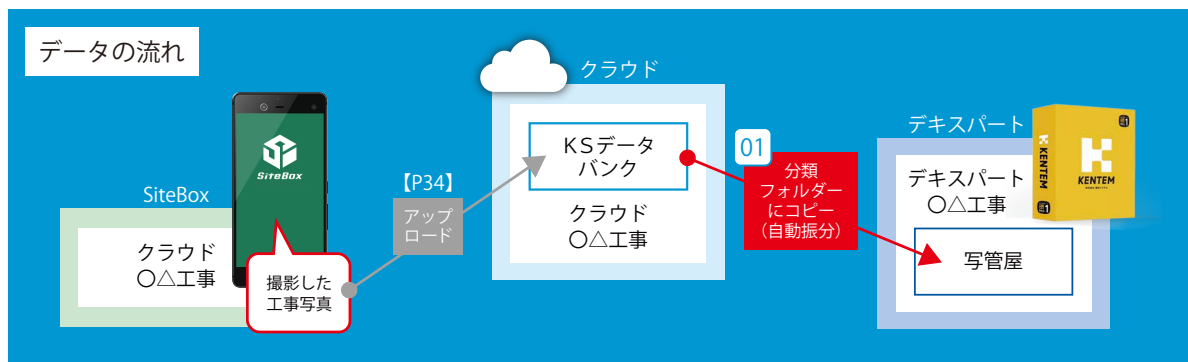
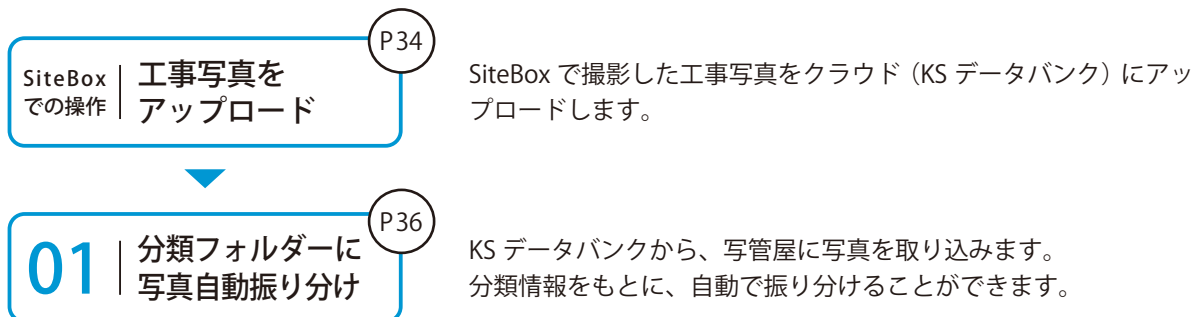
※【ご注意】データのアップロード中は、必ず SiteBox 配筋検査を起動しておくようにしてください。アップロード中にホーム画面の表示や SiteBox 配筋検査のタスクを切るなどの操作をすると、ネットワーク通信が切断され、クラウド（KS データバンク）へのアップロードに失敗することがあります。

STEP 07

「SiteBox 配筋検査」で作成した配筋写真を「写管屋」の分類フォルダーに取り込む

SiteBox で撮影した写真をクラウド（KS データバンク）に保管します。
分類情報をもとに、写管屋の分類フォルダーに自動で振り分けられます。

「写管屋」での操作の流れ

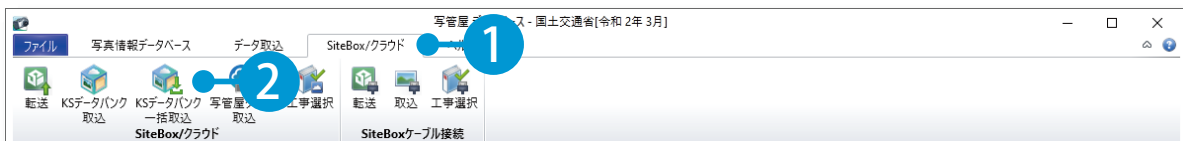


写管屋クラウドをお持ちの場合

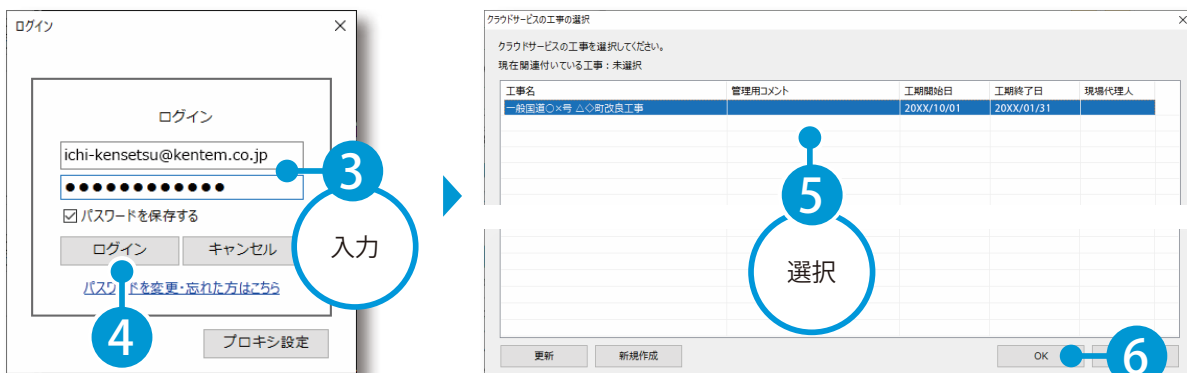
「写管屋クラウド」をお持ちの場合は、写管屋の [Sitebox/クラウド] タブ→ [写管屋クラウド取込] から、写真を取り込んでください。写管屋クラウドで編集（整理）した写真を、一括でフォルダーに振り分けて取り込むことができます。

01 | 写管屋を起動し、写真を取り込みます。

- 1 写管屋を起動し、[SiteBox/クラウド] タブ→ [KS データバンク一括取込] をクリックします。



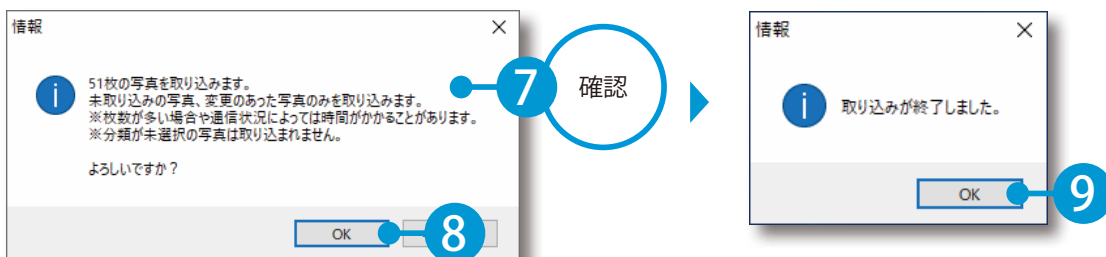
- 2 ログインし、工事を選択します
※すでにログイン済み、または工事の紐づけがされている場合は表示されません。



工事選択画面に選択したい工事名が表示されない場合

工事選択画面に選択したい工事名が表示されない場合は、KS データバンクにログインしているアカウントが該当する工事に所属していない可能性があります。
管理者もしくは該当する工事に所属しているメンバーに、クラウドサービス管理画面にて該当する工事のメンバーとして追加していただくか、[写真情報データベース] タブ→ [写真取込] → [KS データバンクから] (P38) から、写真を取り込んでください。

- 3 メッセージを確認し、[OK] をクリックします。

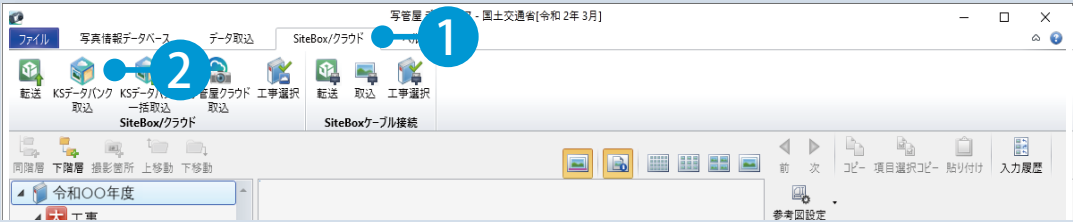


2 回目以降の取込について

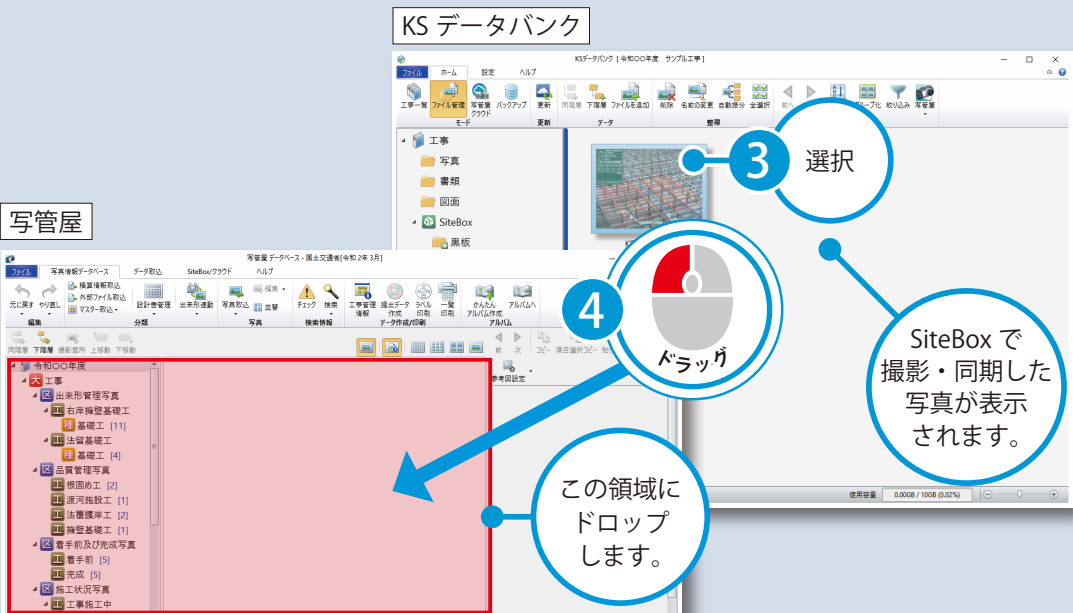
2 回目以降の取り込みは、新たに追加された写真のみ取り込まれます。

取り込む写真を選択して取り込みたい場合や写真を手動で振り分けたい場合

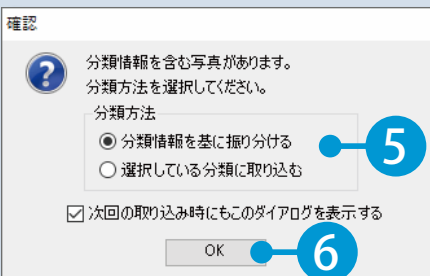
1 写管屋を起動し、[Sitebox/ クラウド] タブ→ [KS データバンク取込] をクリックします。



2 KS データバンクの写真を、分類フォルダーにドラッグ & ドロップします。



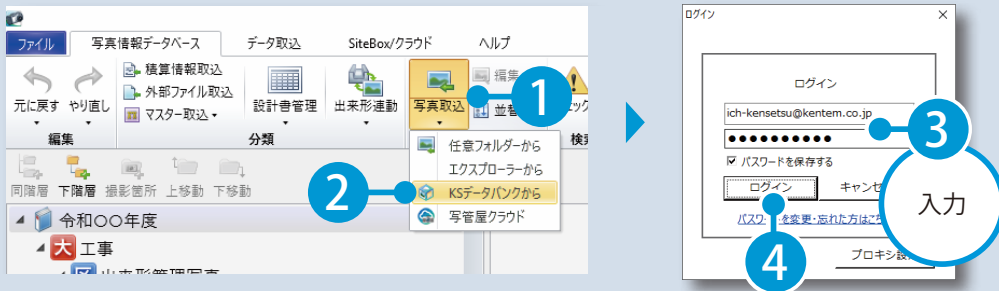
3 分類方法を選択します。[分類情報を基に振り分ける] を選択します。



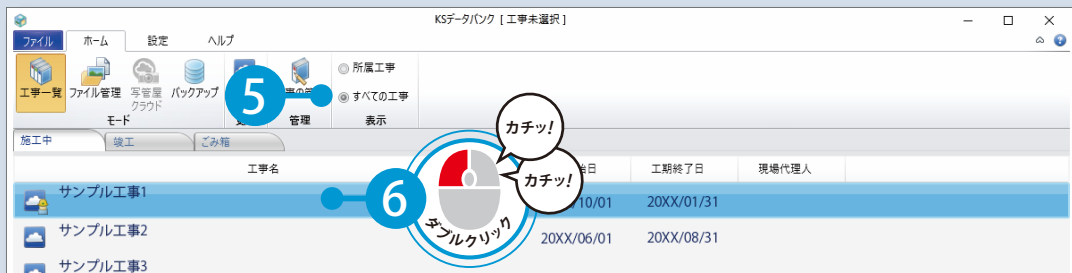
任意の分類フォルダーに取り込む場合
任意の分類フォルダーに写真をドラッグし、[選択している分類に取り込む] を選択します。

所属していない工事の写真を取り込むには

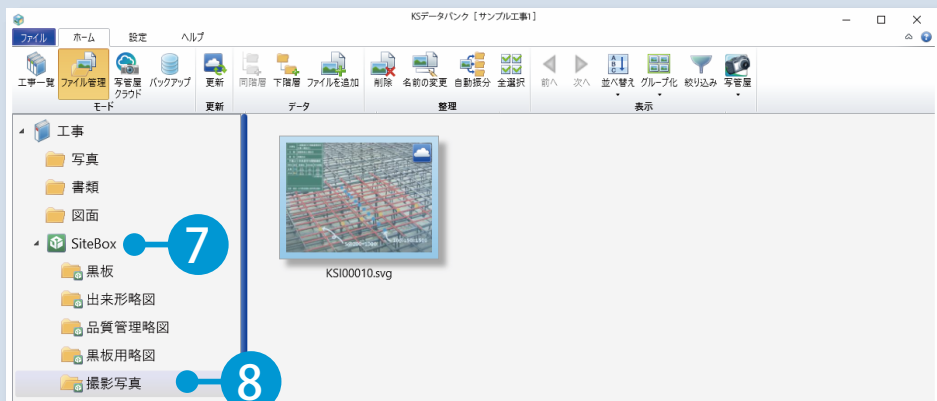
- 1 写管屋を起動し、写真情報データベースの [写真取込] → [KS データバンクから] をクリックします。



- 2 表示を [すべての工事] に切り替え、工事データを選択します。



- 3 ファイル管理画面に切り替わります。[SiteBox] → [撮影写真] を選択します。



- 4 P37の手順と同様に、分類フォルダーにドラッグ & ドロップして写真を取り込んでください。

STEP

08

「SiteBox 配筋検査」で入力した実測値を「出来形管理システム」と同期する

SiteBox 配筋検査で入力した実測値を、クラウドを経由して出来形管理システムと同期します。

「出来形管理システム」での操作の流れ

SiteBox
での操作 | SiteBox 配筋検査側
で同期

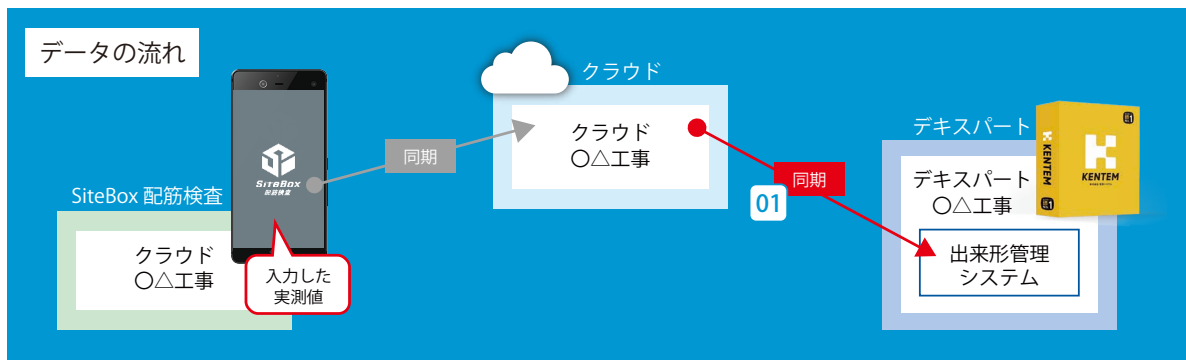
P20
P24

SiteBox 配筋検査で入力した情報をクラウドと同期します。

01 | 出来形側で
クラウドと同期

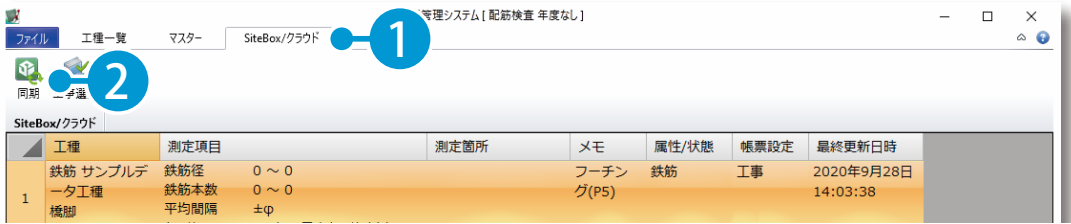
P40

出来形管理システム側で、クラウドと同期します。

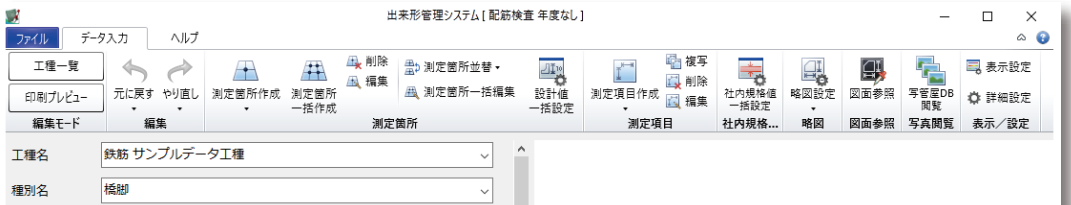


01 | 出来形管理システム側で、クラウドと同期します。

1 出来形管理システムを起動し、同期します。



2 SiteBox 配筋検査で入力した実測値が取り込まれたことを確認します。



測定項目	設計値	実測値1	実測値2	単位_測定値	差1	差2	単位_差	規格値	社内
1 鉄筋径 (φ...)	2	32		mm	0		mm	±0	
2 鉄筋本数 (...)	1	41		本	0		本	±0	
3 平均間隔 (...)	30	301		mm	+1		mm	±32	
4 かぶり (t...)				mm			mm	±32	

STEP 09

「SiteBox 配筋検査」から取り込んだデータを印刷する

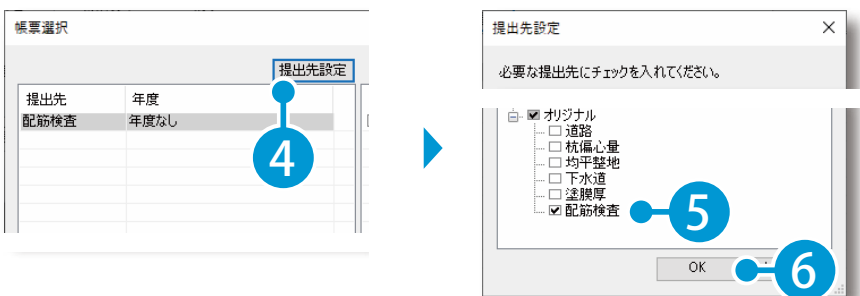
プリンタ、部数などを設定し、印刷します。紙に印刷したい場合や、測定結果総括表だけ印刷したい場合などには、[印刷] を実行します。

01 | 帳票を選択します。

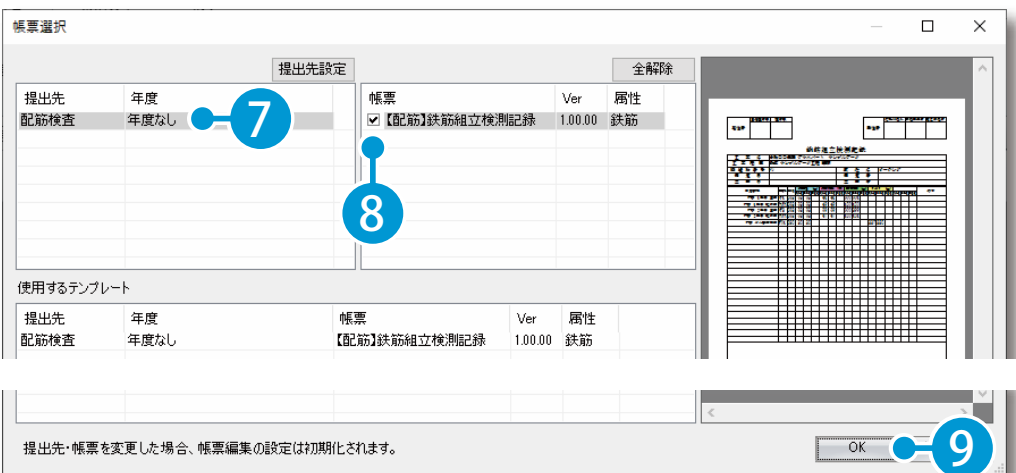
1 出来形管理システムの [印刷プレビュー] → [印刷プレビュー] タブ → [帳票選択] をクリックします。



2 配筋検査の帳票を選択します。

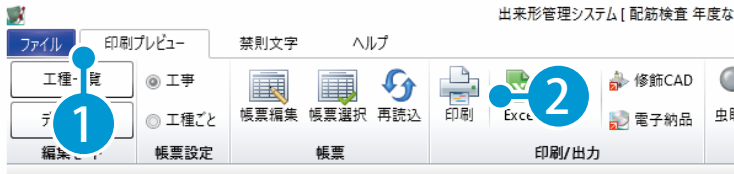


3 [配筋検査 - 年度なし] をクリックし、【配筋】鉄筋組立検測記録】にチェックを付けます。



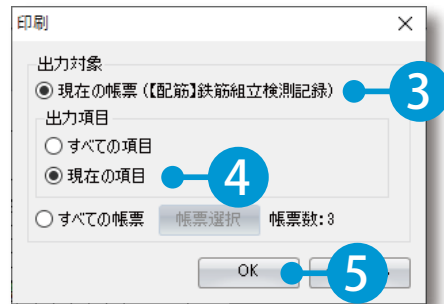
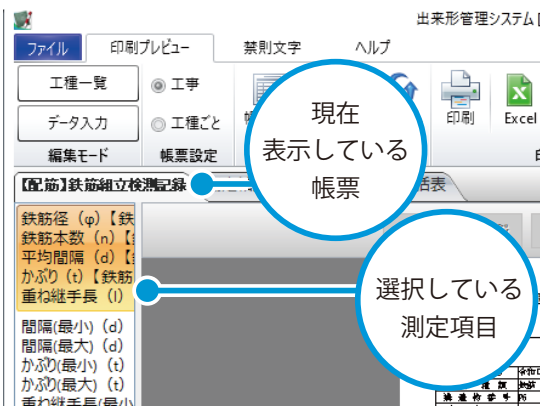
02 | 帳票を印刷します。

1 [印刷プレビュー] タブ→ [印刷] をクリックします。



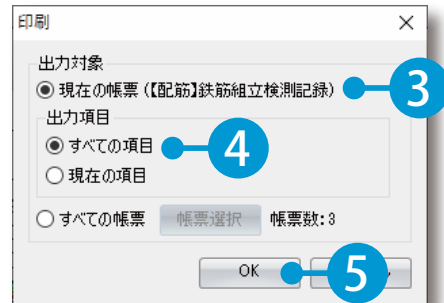
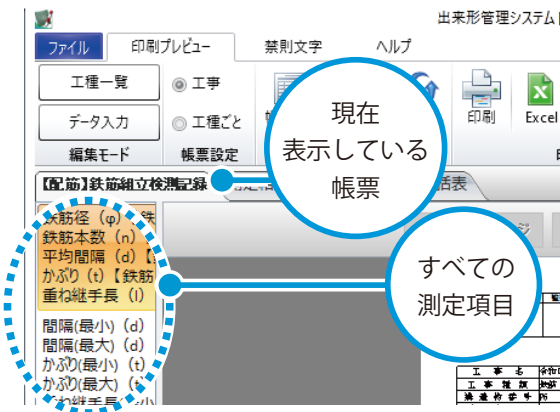
2 印刷範囲を設定します。

現在表示している帳票の、選択している測定項目（または工種）を印刷する場合



※出力項目欄（または出力工種欄）がない画面が表示された場合は、4 の手順を省いてください。

現在表示している帳票の、すべての測定項目（または工種）を印刷する場合



※出力項目欄（または出力工種欄）がない画面が表示された場合は、4 の手順を省いてください。

すべての帳票の全ページを印刷する場合

印刷

出力対象

現在の帳票 (【配筋】鉄筋組立検査記録)

出力項目

すべての項目

現在の項目

すべての帳票 帳票選択 帳票数: 8

OK

現在
選択している帳票
から、さらに帳票を
選択して
印刷できます。

すべての
帳票

帳票を Excel 出力・PDF 出力したい場合

[印刷プレビュー] タブ → [Excel] または [PDF] をクリックします。

出来形管理システム [配筋検査 年度なし]

印刷プレビュー

Excel PDF

「SiteBox 配筋検査」の削除（アンインストール）/ データのアップロードについて

SiteBox 配筋検査の削除（アンインストール）と、データのアップロードについての注意事項です。

「SiteBox 配筋検査」の削除（アンインストール）について

SiteBox 配筋検査を削除すると、データも一緒に削除されます。

必ずデータのアップロードがされていることを確認してから、削除してください。

また、端末の切り替えなどに伴い SiteBox 配筋検査を削除する場合は、必ずログアウトしてから SiteBox 配筋検査を削除してください。

データのアップロードについて

データのアップロード中は、必ず SiteBox 配筋検査を起動しておくようにしてください。

アップロード中にホーム画面の表示や SiteBox 配筋検査のタスクを切るなどの操作をすると、ネットワーク通信が切断され、クラウド（KS データバンク）へのアップロードに失敗することがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

Android™、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

？ ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。
よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。
業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。



お知らせ



FAQ



マニュアル



サポート
など



KENTEM サポート



株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787

2024年8月26日発行

このマニュアルは、SiteBox 配筋検査 Ver. **【Android版】1.21.00**
【iOS/iPadOS版】1.21.00 の画面で作成しています。
出来形管理システム [配筋検査] Ver. 1.04.00